

第4回行政改革懇談会の意見に対する考え方

No.	議事録	項目	意見の概要	市の考え方	確認課
1	2	市の考え方	15番の「地区懇談会」について、開催の仕方や中身を変えていただいて、参加しようとしている方が、参加しやすい、身近な市民の意見を聴く場所として検討してもらいたい。	実施プランに掲げているとおり、来年度の計画の中で、ご意見を踏まえ、市政懇談会のあり方について検討してまいります。	企画政策課
2	2	基本方針	9ページの基本方針2の文章の最後の部分は、「市民と行政間の情報の相互共有に努めます。」で終わっているが、「相互共有を図った上で、対話と理解促進に努めながら取組みを推進する。」などという表現があってもいいのではないか。	ご意見を踏まえ、当該箇所を「市民と行政間の情報の相互共有を図るとともに、対話と相互理解に努めます。」に修正いたします。	行政改革推進室
3	3	実施プラン	23ページの「34 不用品売却の推進」は、「買取り業者」に限定するのではなく、インターネット公売などの様々な手法を検討して、売却先を決定するほうが良いと思う。	ご意見を踏まえ、23ページの「34 不用品売却の推進」の内容を修正いたします。	財政課
4	3	実施プラン	18ページの「27 事業見直しによる歳出抑制」について、大枠の金額だけ示されているが、かなり大規模な金額となっているので、H29で事業が終了するものの金額など、見せ方の工夫が必要ではないか。	事務事業の見直しは、全事業の見直しを行ったうえでの積み上げの金額となっています。計画年度における事業終了に伴う削減額の概算を枠外に別記した上で、削減の内容の公表の仕方を検討いたします。	行政改革推進室
5	4	実施プラン	歳出削減や働き方改革を行いながら、「行政サービスのさらなる高品質化」は可能なのか。実施プランの中で、もう一步踏み込んだ計画が示されても良いのではないか。	今回の行政改革は、歳出削減などのマイナスイメージの中でも、職員の資質向上や組織の効率化により、サービスの高品質化を図ろうとするものです。待遇などの職員研修や業務改善、民間活力の導入などを図り、サービスの高品質化を目指すこととしています。	行政改革推進室
6	5	全体	良いものを残して、またさらに新しいものをとると、ある程度削ったりしていかないと、無理が出るのではないか。大事なものは進めてもらい、全体的には、もう少しゆっくりと進めていってもいいのではないか。	行政改革基本方針や実施プランの策定と並行して、全庁的に事務事業の見直しを行っております。市役所内部経費の削減のほか、事業の選択と集中を図りながら、ご意見を踏まえ、計画を進めてまいります。	行政改革推進室
7	6	実施プラン	18ページの「27 事務事業見直しによる歳出抑制」に関連して、組織の横の連携を「創造的な組織体制」ということで構築し、国や県などからの補助メニューの情報を1箇所を集めて、うまく活用していくという方法があると思う。情報がまとまり、メニューの別な使い方も庁内で議論できるのではないか。	国や県などからの補助金については、財政負担の軽減を図るため、これまでも創意工夫による活用に努めており、特にH30当初予算編成においては、一層の活用を図ったところです。更に効率的、効果的に活用できるよう、ご意見を踏まえ、検討してまいります。	企画政策課 財政課
8	8	その他	パブリックコメントの時期や期間、考え方の掲載方法や実名・匿名の選択性など、実施方法について検討すべきではないか。	パブリックコメントの実施方法については、今回の実施プランの中で市としての統一的な基準を設けていくこととしています。ご意見を踏まえ、検討してまいります。	行政改革推進室